

屋外トイレの要求性能

- ・関係法令に基づき、適切に計画されていること。
- ・視覚障害者用の誘導表示や点字案内、点字ブロック、非常用警報装置等が適切に計画されていること。
- ・バリアフリースイートイレとは別に男女別トイレを設けること。
- ・洗面台、鏡、棚、フックを必要数設けること。各トイレの洗面器、小便器、大便器のうち、1以上には手すりを設けること。
- ・清掃用具を備える用具庫を設けること。
- ・内外装は耐久性、保守維持管理性に配慮した仕上げ材とすること。
- ・床は防滑性があり清掃しやすい床材とすること。
- ・トイレブースは内開きとし、非常時外開き機能を設けること。

【衛生器具設備】

- ・大便器は洋式洗浄機能付き便座とする。
- ・小便器は子どもの利用にも配慮しストール型の自動洗浄とする。
- ・スロップシンクを設けること。
- ・非接触型自動水栓機器を設けること。
- ・擬音装置等、利用者の快適性に配慮した設備を導入すること。

【みんなのトイレ（バリアフリースイートイレ）】

- ・「車椅子利用者用便房」「オストメイト用設備を有する便房」の個別機能を備えた便房をそれぞれ1以上設けること。（それぞれの便房は兼ねてもよい。）
- ・洗面は給湯が使用できるよう計画すること。

【維持管理】

- ・トイレは、定期的に巡回し、備品類の整理整頓、消耗品類の補充、清掃等を行い、常に利用者が衛生的かつ快適に利用できる状態を維持すること。
- ・清掃用具は、提案による。
- ・トイレトーパー、石鹼、清掃用具などの消耗品は、事業者の費用と責にて調達すること。